

経営比較分析表（令和元年度決算）

佐賀県 玄海町

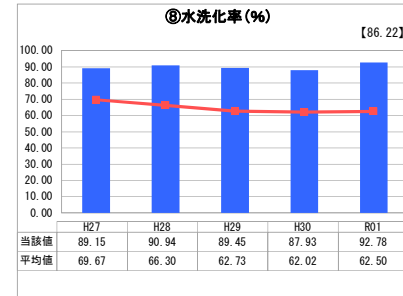
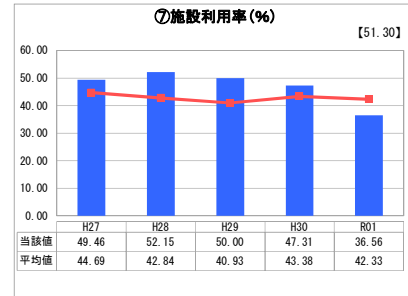
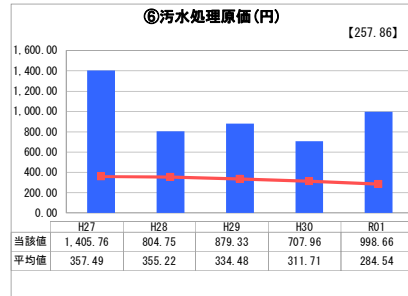
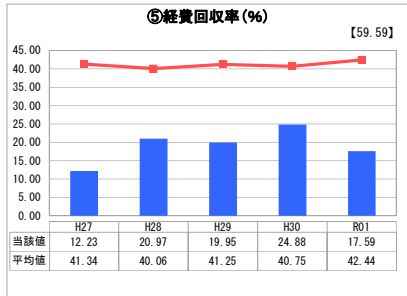
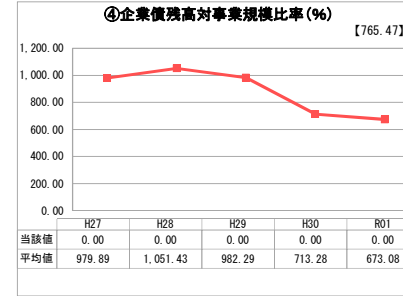
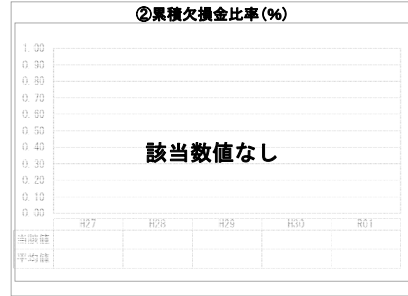
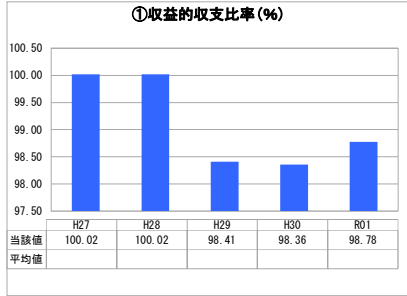
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F3	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	8.63	100.00	3,520

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
5,505	35.92	153.26
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
471	0.21	2,242.86

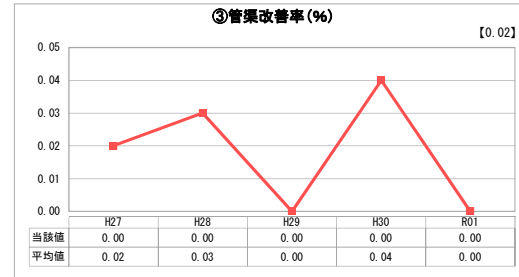
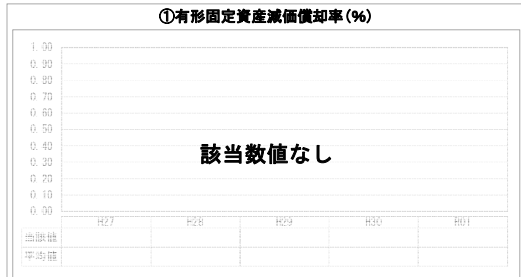
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経費回収率は、平均値42.44%に対し本町は17.59%と、平均値を大きく下回っており、使用料のみでは経営が全く成り立たない状況となっている。このため、施設併用開始から10年以上経過しているが、毎年一般会計繰入金に依存せざるを得ない現状である。使用料の増額を行うべきだが住民負担を強いることとなるため、現在維持費を低減させるべく計画的な修繕を行っている。

2. 老朽化の状況について

座川内浄化センターの併用開始が平成17年度、小加倉浄化センターの併用開始が平成18年度となっており、約16年経過している。このため、近年修繕箇所が多く発生している状況である。今後とも増加すると想定されるため、計画的に整備することで、費用負担の平準化を図り大規模な補修工事を未然に防止し、修繕に係る費用負担を減らす。

全体総括

本町の料金体制は人頭制であり、今後、人口減少による使用料収入の減少が予想される。さらに施設の老朽化に伴う修繕費等の増加も想定される。このため、施設を計画的に整備することで、費用負担の平準化を図り大規模な補修工事を未然に防止し、修繕に係る費用負担を減らしていくことで、安定的なサービスの供給を目指す。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。